



The 22nd Chugoku Regional Meeting of Japan Endocrine Society

第22回 日本内分泌学会 中国支部学術集会

プログラム・抄録集

会期 2021年 9月4日(土)

会場 完全WEB開催

会長 亀井 望

広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科 部長



ご 挨拶

日本内分泌学会中国支部学術集会の 開催にあたって

第22回日本内分泌学会中国支部学術集会

会 長 亀井 望 広島赤十字・原爆病院
内分泌・代謝内科



このたび、第22回日本内分泌学会中国支部学術集会を、2021年9月4日(土)に完全 Web 開催としてお世話させていただきます。このような機会を与えていただき、大変光栄に存じます。

新型コロナ感染の拡大もあり、どのような開催形式とするかギリギリまで悩みました。プログラム編成や Web 配信についてご相談に乗っていただいた沖健司先生、小武家和博先生、開催形式についてご助力、アドバイスをいただきサポートしてくださった支部長の谷澤幸生先生、副支部長の大塚文男先生に心より御礼申し上げます。

本会は、内分泌診療に関わる医療者が日々の研究成果や症例を持ち寄る大変貴重な機会です。今回、おそらく過去最高となる54演題のご応募をいただきました。広島国際会議場において万全の感染対策を行いリアルでの質疑応答をしていただきたいと強く思っておりましたが、東京オリンピック開催中に新型コロナ感染・重症者数は急増し、中国地方の域内であっても移動や集まりを避けざるを得ない状況となってしまいました。開催形式について直前の変更となりましたことを心よりお詫び申し上げます。

特別講演には、虎の門病院院長の門脇孝先生をお迎えし、「2型糖尿病－成因と治療の最新知見」と題してご講演いただきます。門脇先生ご自身が切り開いてこられた糖尿病の歴史とさらに進化する未来についてお聞きできるものと存じます。

JES We Can は、委員の鞍嶋有紀先生、三好智子先生、折出亜希先生が中心となって「女性医師(医療者)の健康の問題とキャリア形成について」というテーマでご企画いただき、鈴木(堀田)眞理先生、江夏亜希子先生、宇都宮朱里先生にご講演、ディスカッションをお願いしております。女性医療者の思春期以後の月経、出産、育児、更年期などとキャリア形成について、男性も一緒に考える貴重な機会になると思います。

また、専門医のみならず、総合診療をされている医師やコメディカルスタッフ、これから内分泌診療を始めようとする若い仲間が内分泌臨床に興味を持っていただく機会を持ちたいと考え、新たに教育講演を企画しました。内科領域について大塚文男先生に、小児科領域について西美和先生にお話をさせていただきます。「目からウロコ」の機会をお見逃しなく。

若手研究奨励賞(YIA)にも素晴らしい6演題をいただいております。ぜひ、活発な討論をお楽しみください。

特別講演、JES We Can 企画、教育講演、YIA 候補演題は、Zoom による配信を行い、Q&A を介して質疑応答をしていただきます。さらに YIA 候補演題と一般演題はホームページ上で演題 PDF 版を閲覧可能とし、インターネットを通じて質疑応答としました。

完全 Web 開催への変更により、先生方のご施設、ご自宅から気軽にご参加できるようになりました。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

第22回日本内分泌学会中国支部学術集会

開催概要

会 長

亀井 望(広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科)

会 期

令和3年9月4日(土) 12:50～18:10

会 場

完全 WEB 学術集会

配信スタジオ：株式会社 NVC

〒732-0008 広島市東区戸坂くるめ木1-4-33

TEL：082-229-7200 FAX：082-229-7201

学術集会

12:50～18:10

YIA 候補演題口演

13:00～14:10

JES We Can・第22回中国支部学術集会共同企画

14:20～15:30

教育講演(日本内分泌学会指定講演)

15:40～16:40

支部総会・YIA 表彰

16:45～16:55

特別講演(共催：ノボノルディスク ファーマ株式会社)

17:00～18:00

令和3年9月4日(土)から9月17日(金)までの2週間、参加登録者はホームページ上で一般演題と YIA 候補演題の PDF 版を閲覧可能とする。

参加者へのご案内

1. 参加受付

事前登録 1： 2021年5月6日(木)～2021年7月20日(火) HPにて

事前登録 2： 2021年8月5日(木)～2021年8月25日(水) HPにて

2. 参加費・抄録集販売など

【事前登録参加費】

医師・一般	：3,000円
医師(非会員)	：3,500円
コメディカル	：1,000円
学部学生・初期研修医	：無料(学生証または研修証明書の提出)

事前登録1で登録された方は、プログラム・抄録集とともに参加証(兼領収証)を郵送します。

事前登録2で登録された方は、学会終了後に参加証(兼領収証)を郵送します。

3. 参加方法

事前登録されたE-mailのアドレス宛にZoomの「聴講者用URL」をお送りしますので、リアルタイムでご視聴ください。

また、一般演題とYIA候補演題のPDF版を、令和3年9月4日(土)から9月17日(金)までの2週間、ホームページ上で閲覧可能です。

情報は順次ホームページにて公開しますので、ご確認ください。

4. 単位登録

・日本内分泌学会 内分泌代謝専門医更新単位

対象者：内分泌代謝専門医

内分泌代謝専門医資格を取得されている方へは、ご出席により参加単位として5単位が付与されます。参加単位が必要な方は、9月5日(日)までに学術集会ホームページ上の「参加者の方へ」ページにある [単位申請画面へ](#) から必ずお申し込みください。

演者加算、関連学会への単位加算は自己申告が必要ですので、参加証を大切に保管してください。

・日本内分泌学会 内分泌代謝専門医更新 指定講演聴講単位

対象者：内分泌代謝専門医および専攻医

本会の「教育講演」へのご出席により、指定講演聴講単位が取得可能です。

教育講演1、教育講演2ともに1単位が取得できますが、専門医は両方聴講されてもどちらか一つの単位のみしか認められません。専攻医は両方の単位を取得可能です。

参加単位が必要な方は、9月5日(日)までに学術集会ホームページ上の「参加者の方へ」ページにある [単位申請画面へ](#) から必ずお申し込みください。参加ログを確認し、全時間内の参加が確認された場合のみ単位が取得できます。

教育講演1 16:00～16:30 領域：小児科 1単位

教育講演2 16:30～17:00 領域：内科 1単位

5. 注意事項

Live 配信動画、講演スライドなどの録画・録音・撮影・スクリーンショットなどの行為は一切禁止します。無断転用・複製も禁止します。

座長・審査員・演者へのご案内

1. 出演セッションへの参加方法

任意の場所から、ご自身の PC で Zoom (WEB 会議システム) を使用してセッションにご参加いただきます。ご参加いただくセッションの ZOOM URL は、個別にメールにてご案内いたします。「座長・審査員・演者」の「招待 URL」と「聴講者用 URL」は異なりますので、メールでご案内する URL で接続してください。

- * インターネットの通信環境が良い場所でご参加ください。
- * お持ちの PC にカメラ、スピーカー、マイクが付属されているかご確認ください。可能な限り、マイク付きイヤホンやヘッドセットマイクなどをご使用ください。ハウリングなどを防止します。
- * セッション中は不要なアプリケーションは全て閉じてください。

2. 質疑応答について

参加者からの質疑は、試聴画面上に表示されている「Q&A 機能」を用いて行います。座長の先生は、「Q&A 機能」で寄せられた質問から適宜発表者へ質疑を行ってください。演者の先生方はマイクを使用して応答をお願いします。教育講演では質疑応答はございませんのでご承知ください。

3. 一般演題と YIA 候補演題発表者の先生方へ

事前にホームページ掲載用の PDF を E-mail にてお送りいただいております。ホームページには令和3年9月4日(土)から9月17日(金)までの2週間掲載し、学会参加者が閲覧可能とします。受け付けた質問は運営事務局で取りまとめてメールを送りますので、回答をお願いします。

【利益相反の開示】

会員、非会員の別を問わず、発表者は該当する COI 状態について、演題名・発表者などを紹介するスライドの次(2枚目のスライド)に情報開示をお願いします。

所定の様式は、日本内分泌学会 HP (http://www.j-endo.jp/modules/about/index.php?content_id=8) の「様式1-A 学術講演会口頭発表時のスライド例」からダウンロードできます。

主 催：日本内分泌学会中国支部

支 部 長：山口大学大学院医学系研究科 病態制御内科学 谷澤 幸生

副支部長：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 総合内科学 大塚 文男

事 務 局：山口大学大学院医学系研究科 病態制御内科学 谷澤 幸生

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1

第22回日本内分泌学会中国支部学術集会事務局

広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科

〒730-8619 広島市中区千田町1-9-6

TEL：082-241-3111 FAX：082-246-0676

E-mail：jesc2021@hiroshima-med.jrc.or.jp

Zoom

12:30	
13:00	12:50~13:00 黙祷・開会 支部長：谷澤 幸生 会長：亀井 望
14:00	13:00~14:10 YIA候補演題口演 座長：宗 友厚（川崎医科大学） 岡田 賢（広島大学）
15:00	14:20~15:30 JES We Can・第22回中国支部学術集会共同企画 女性医師（医療者）の健康の問題とキャリア形成について 座長：鞆嶋 有紀（島根大学） 中村 康彦（山口県立総合医療センター）
16:00	15:40~16:10 教育講演 1 座長：澤野 文夫（澤野甲状腺・糖尿病専門予約クリニック） 日常診療で見逃されている症例について 西 美和（広島赤十字・原爆病院）
	16:10~16:40 教育講演 2 座長：和田 淳（岡山大学） 総合診療視点で診ると楽しい内分泌疾患 大塚 文男（岡山大学）
17:00	16:45~16:55 中国支部総会 YIA表彰
	17:00~18:00 特別講演 座長：亀井 望（広島赤十字・原爆病院） 2型糖尿病 一成因と治療の最新知見 門脇 孝（虎の門病院） 共催：ノボルディスク ファーマ株式会社
18:00	18:00~ 閉会挨拶 会長：亀井 望

第22回日本内分泌学会中国支部学術集会

若手研究奨励賞

(Young Investigator Award : YIA)

座 長

宗 友厚 川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科

岡田 賢 広島大学病院 小児科

審 査 員

支部長 谷澤 幸生 山口大学大学院医学系研究科 病態制御内科学

島 根 金崎 春彦 島根大学医学部 産科婦人科学

鳥 取 黒崎 雅道 鳥取大学医学部 脳神経外科学分野

山 口 秋山 優 山口大学大学院医学系研究科 病態制御内科学

岡 山 村部 浩之 倉敷中央病院 内分泌代謝・リウマチ内科

広 島 水木 一仁 広島市民病院 内分泌・糖尿病内科

第22回日本内分泌学会中国支部学術集会

プログラム

2021年9月4日(土) Web 開催

12:50～13:00 **黙祷・開会**

前支部長 杉本利嗣先生に黙祷

支部長：谷澤 幸生(山口大学大学院医学系研究科 病態制御内科学)

開会挨拶

会長：亀井 望(広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科)

13:00～14:10 **YIA 候補演題口演**

座長：宗 友厚(川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科)

岡田 賢(広島大学病院 小児科)

YIA-1 MEN1疑いの家族歴と上縦隔に進展する副甲状腺癌を認めた1例

○大塚 勇輝¹⁾、長谷川 功¹⁾、原田 洸¹⁾、西村 義人¹⁾、岡 浩介¹⁾、小野 早和子²⁾、
枝園 忠彦³⁾、平沢 晃⁴⁾、大塚 文男¹⁾

1)岡山大学病院 総合内科・総合診療科、2)岡山大学病院 病理診断科、3)岡山大学病院 乳腺・内分泌外科、
4)岡山大学病院 臨床遺伝子診療科

YIA-2 糖尿病発症までの経時的耐糖能変化を観察しえた免疫チェックポイント阻害薬 (immune checkpoint inhibitors: ICI) 関連1型糖尿病の2症例

○大井 祐貴子¹⁾、渡邊 真由²⁾、江口 潤¹⁾、和田 淳¹⁾

1)岡山大学病院 腎・免疫・内分泌代謝内科学講座、
2)岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座 医療人キャリアセンター MUSCAT2

YIA-3 ソラフェニブ導入により病勢制御が可能となった再発副甲状腺癌の1例

○槇野 裕文¹⁾、野津 雅和¹⁾、朝山 伊津子¹⁾、大谷 はづき²⁾、守田 美和¹⁾、山本 昌弘¹⁾、
三宅 仁美³⁾、荒木 亜寿香⁴⁾、内野 真也⁵⁾、金崎 啓造¹⁾

1)島根大学医学部 内科学講座内科学第一、2)国立病院機構浜田医療センター 内分泌・代謝内科、
3)雲南市立病院 内科、4)島根大学医学部 器官病理学、5)野口病院 外科

YIA-4 両側副腎腫瘍にPRKACA 変異を認めたクッシング症候群の解析

○大田垣 裕、沖 健司、馬場 隆太、小武家 和博、一町 澄宜、長野 学、大野 晴也、
米田 真康

広島大学病院 内分泌・糖尿病内科

YIA-5 8mgデキサメタゾン抑制試験にて血中コルチゾールの抑制が確認できないクッシング病の3例

○深谷 健二¹⁾、伊澤 正一郎¹⁾、種田 夏香¹⁾、末田 光¹⁾、北尾 苑子¹⁾、大倉 毅¹⁾、中村 陽祐²⁾、高見 明日香³⁾、黒崎 雅道³⁾、山本 一博¹⁾

1) 鳥取大学医学部 循環器・内分泌代謝内科学分野、2) 鳥取大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野、3) 鳥取大学医学部 脳神経外科学分野

YIA-6 反応性低血糖を呈しグルカゴン負荷試験が診断に有用だったインスリノーマの1例

○伊藤 慶彦、稲垣 兼一、藤澤 諭、佐々木 恵里佳、西山 悠紀、森本 栄作、寺坂 友博、原 孝行、越智 可奈子、和田 淳

岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科／内分泌センター

14:20～15:30

JES We Can・第22回中国支部学術集会共同企画

座長：鞆嶋 有紀(島根大学医学部 小児科)

中村 康彦(山口県立総合医療センター 産婦人科)

「女性医師(医療者)の健康の問題とキャリア形成について」

内分泌診療から研究へ、社会活動へ

鈴木(堀田) 眞理(政策研究大学院大学 名誉教授/跡見学園女子大学 心理学部 特任教授)

月経そしてライフイベントと女性のキャリア形成

～当事者として、そして産婦人科医として～

江夏 亜希子(四季レディースクリニック 院長)

女性医師のライフイベントとキャリア形成のシナジーを目指して

宇都宮 朱里(県立広島病院成育医療センター 小児科部長)

15:40～16:10

教育講演 1 [日本内分泌学会 指定講演 B7-001-21 小児科]

座長：澤野 文夫(澤野甲状腺・糖尿病専門予約クリニック)

「日常診療で見逃されている症例について」

西 美和 先生 広島赤十字・原爆病院 小児科

16:10～16:40 **教育講演 2** [日本内分泌学会 指定講演 B7-002-21 内科]

座長：和田 淳(岡山大学大学院 腎・免疫・内分泌代謝内科学)

「総合診療視点で診ると楽しい内分泌疾患」

大塚 文男 先生 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 総合内科学・教授

16:45～16:55 **中国支部総会・YIA 表彰**

17:00～18:00 **特別講演**

座長：亀井 望(広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科)

「2型糖尿病一成因と治療の最新知見」

門脇 孝 先生 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長

共催：ノボノルディスク ファーマ株式会社

18:00～ **閉会挨拶**

会 長：亀井 望(広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科)

一般演題プログラム

令和3年9月4日(土)～9月17日(金)までHPにてPDF版を参加登録者へ限定公開

一般演題 1

[下垂体1]

座長：稲垣 兼一(岡山大学病院 内分泌センター)

01 口渇中枢障害を伴う高ナトリウム血症に 経口デスモプレシン製剤が有効であった中枢神経悪性リンパ腫の1例

○古川 潤一¹⁾、平野 志歩²⁾、森岡 健彦³⁾、露口 冴⁴⁾、山田 陽子²⁾、宮原 弥恵²⁾、
望月 久義²⁾

1) 県立広島病院 臨床研修センター、2) 県立広島病院 糖尿病・内分泌内科、3) 県立広島病院 臨床腫瘍科、
4) 県立広島病院 脳神経外科・脳血管内治療科

02 意識障害で救急搬送され、精神症状、嚥下機能低下を認めた ACTH 単独欠損症の1例

○藤井 友優¹⁾、久保田 益亘²⁾、城山 枝里²⁾、吉井 陽子²⁾

1) 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 臨床研修部、
2) 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 内分泌・糖尿病内科

03 IgG4 関連下垂体炎による中枢性尿崩症と考えられた1例

○森 茂人¹⁾、岩本 侑一郎²⁾、辰巳 文則²⁾、杉崎 俊友²⁾、段 和徳²⁾、片倉 幸乃²⁾、
下田 将司²⁾、中西 修平²⁾、宗 友厚²⁾、金藤 秀明²⁾

1) 川崎医科大学 臨床教育研修センター、2) 川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学

04 ニボルマブ・イピリムマブ併用療法による ACTH 単独欠損症に著明な高Ca血症を合併した一例

○山田 陽子¹⁾、平野 志歩¹⁾、定秀 孝介²⁾、宮原 弥恵¹⁾、望月 久義¹⁾

1) 県立広島病院 糖尿病・内分泌内科、2) 県立広島病院 泌尿器科

一般演題 2

[下垂体2]

座長：松田 亜華(安佐市民病院 内分泌・糖尿病内科)

05 GH 補充療法により脂肪肝の著明な改善を認めた AGHD の1例

○高瀬 了輔¹⁾、中野 靖浩¹⁾、山本 紘一郎¹⁾、越智 可奈子²⁾、本多 寛之¹⁾、長谷川 功¹⁾、
三好 智子¹⁾、小川 弘子¹⁾、大塚 文男¹⁾

1) 岡山大学病院 総合内科・総合診療科、2) 岡山大学 医療教育センター

06 肺癌治療中の発熱を契機に発見されたペムブロリズマブによる irAE の1例

○平仲 凪¹⁾、山本 紘一郎²⁾、田中 秀一²⁾、孫 麗那²⁾、高橋 美砂²⁾、本多 寛之²⁾、
長谷川 功²⁾、大塚 文男²⁾

1) 岡山大学病院 卒後臨床研修センター、2) 岡山大学病院 総合内科・総合診療科

07 抗 PD-1 抗体による免疫関連有害事象(irAE)として副腎不全を発症した2症例

○稲垣 早織¹⁾、稲見 光浩¹⁾、濱岡 彩¹⁾、山口 将平²⁾、前田 貴司²⁾、亀井 望¹⁾

1) 広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科、2) 広島赤十字・原爆病院 外科

一般演題 3

[下垂体 3]

座長：野津 雅和(島根大学医学部 内科学第一)

08 コントロール不良糖尿病の教育入院中に発見された先端巨大症の1例

○平野 志歩¹⁾、宮原 弥恵¹⁾、山田 陽子¹⁾、迫口 哲彦²⁾、富永 篤²⁾、望月 久義¹⁾

1) 県立広島病院 糖尿病・内分泌内科、2) 県立広島病院 脳神経外科・脳血管治療科

09 乳汁漏出の精査より判明した Big プロラクチンと性同一性障害の合併例

○桜田 泰江¹⁾、越智 可奈子²⁾、山本 紘一郎¹⁾、古川 雅規³⁾、大塚 文男¹⁾³⁾

1) 岡山大学病院 総合内科・総合診療科、2) 岡山大学 医療教育センター、3) 岡山大学病院 検査部

10 下垂体卒中急性期症例の検討

○迫口 哲彦、富永 篤、竹下 真一郎、岐浦 禎展、籬 拓郎、近藤 浩、露口 冨、
塩田 大成

県立広島病院 脳神経外科・脳血管内治療科

一般演題 4

[下垂体 4]

座長：富永 篤(県立広島病院 脳神経外科・脳血管内治療科)

11 卵巣過剰刺激症候群を呈した Functioning gonadotroph pituitary adenoma の1例

○田口 慧、木下 康之

広島大学大学院医系科学研究科 脳神経外科学

12 乳癌の視床下部への転移による汎下垂体機能低下症

○碓井 智、隅田 昌之、大下 純平

広島赤十字・原爆病院 脳神経外科

13 中枢性尿崩症・中枢神経変性症を認めランゲルハンス細胞組織球症が疑われた症例

○秋山 優¹⁾、胡中 公謹¹⁾、高橋 奈歩¹⁾、山本 薫¹⁾、徳永 良洋¹⁾、竹田 孔明²⁾、根本 譲³⁾、
神田 隆³⁾、太田 康晴¹⁾、谷澤 幸生¹⁾

1) 山口大学医学部附属病院 第三内科、2) 山口県立総合医療センター 内分泌内科、

3) 山口大学医学部附属病院 脳神経内科

14 メラトニン長期投与による加齢に伴う体重増加抑制とそのメカニズム

○田村 功、田村 博史、城崎 舞、藤村 大志、田中 結美子、白蓋 雄一郎、三原 由美子、
竹谷 俊明、杉野 法広

山口大学 医学部 産科婦人科学講座

一般演題 5

[副腎性腺 1]

座長：竹田 孔明(山口県立総合医療センター 内分泌・代謝・糖尿病科)

15 多発性筋炎を合併した Klinefelter 症候群の 1 例

○松山 里穂、沖 健司、大田垣 裕、小武家 和博、一町 澄宜、長野 学、大野 晴也、
米田 真康

広島大学病院 分子内科学 内分泌・糖尿病内科

16 たこつぼ心筋症の原因としてステロイド離脱症候群が疑われた一例

○吉山 紗代¹⁾、岡田 晃²⁾、對馬 浩³⁾、小出 純子¹⁾

1) 独立行政法人 国立病院機構 東広島医療センター 内分泌糖尿病内科、

2) 広島大学大学院 分子内科学 内分泌・糖尿病内科、

3) 独立行政法人 国立病院機構 東広島医療センター 循環器内科

17 副腎腫瘍を経過観察中に増大を認め Cushing 症候群を発症した 1 例

○濱岡 彩¹⁾、稲見 光浩¹⁾、稲垣 早織¹⁾、坂谷 暁夫³⁾、平田 晃²⁾、柿沢 秀明⁴⁾、
猪川 栄興²⁾、藤原 恵³⁾、亀井 望¹⁾

1) 広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科、2) 広島赤十字・原爆病院 泌尿器科、

3) 広島赤十字・原爆病院 病理診断科、4) 広島赤十字・原爆病院 放射線診断科

一般演題 6

[副腎性腺 2]

座長：一町 澄宜(広島大学病院 内分泌・糖尿病内科)

18 肺炎時の採血で偶然発見した Gitelman 症候群一例の 10 年にわたる治療経過

○富澤 明子¹⁾、野津 寛大²⁾

1) 汐田総合病院 小児科、2) 神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科

19 左副腎摘出 26 年後に対側副腎腺腫を認め Cushing 症候群を呈した 65 歳女性の 1 例

○松尾 知恵¹⁾、城山 枝里²⁾、吉井 陽子²⁾、久保田 益亘²⁾、岩根 享輔³⁾、繁田 正信³⁾

1) 独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 臨床研修医、

2) 独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 内分泌・糖尿病内科、

3) 独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 泌尿器科

20 COVID-19 後の倦怠感を契機に発見された LOH 症候群の 1 例

○副島 佳晃、中野 靖浩、中本 健太、大塚 勇輝、櫻田 泰江、徳増 一樹、本多 寛之、
長谷川 功、萩谷 英大、大塚 文男

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 総合内科学

一般演題 7

[副腎性腺 3]

座長：伊澤 正一郎（鳥取大学医学部附属病院 内分泌代謝内科）

21 糖尿病治療中、臨床的に異所性 ACTH 産生内分泌腫瘍を診断した一例

○洪 早耶佳、許 敬高、大久保 博史、水木 一仁

地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院

22 著明なコルチゾール自律産生性を認めた副腎皮質癌の1例

○城山 枝里、吉井 陽子、久保田 益亘

独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター

23 多発結節病変を認めた傍神経節腫瘍の1例

○岡田 晃¹⁾、沖 健司¹⁾、太田垣 裕¹⁾、小武家 和博¹⁾、一町 澄宜¹⁾、長野 学¹⁾、
大野 晴也¹⁾、有廣 光司²⁾、米田 真康¹⁾

1) 広島大学病院 内分泌・糖尿病内科、2) 広島大学病院 病理診断科

一般演題 8

[甲状腺 1]

座長：久保田 益亘（呉医療センター中国がんセンター 内分泌・糖尿病内科）

24 血性胸水・心嚢液を呈した術後甲状腺機能低下症の1例

○岩本 侑一郎¹⁾、辰巳 文則¹⁾、段 和徳¹⁾、和又 諒¹⁾、片倉 幸乃¹⁾、下田 将司¹⁾、
中西 修平¹⁾、宗 友厚¹⁾、加来 浩平²⁾、金藤 秀明¹⁾

1) 川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学、2) 川崎医科大学総合医療センター 特任部長

25 著しい好酸球増多を来したバセドウ病の例

○三宅川 恭子¹⁾、三好 智子²⁾、黒井 大雅¹⁾、前田 恵実³⁾、玄馬 顕一¹⁾、谷本 光音¹⁾

1) 公立学校共済組合 中国中央病院 内科、

2) 岡山大学 大学院 医歯薬学総合研究科 ぐらしき総合医学研究講座、

3) 独立行政法人 国立病院機構 福山医療センター

26 総合診療における甲状腺機能低下状態の潜在とその特徴

○高見 優男¹⁾²⁾、山本 紘一郎¹⁾、花山 宜久¹⁾、中野 靖浩¹⁾、長谷川 功¹⁾、小比賀 美香子¹⁾、
萩谷 英大¹⁾、大塚 文男¹⁾

1) 岡山大学病院 総合内科・総合診療科、2) 高梁市国民健康保険成羽病院

27 バセドウ病治療におけるチアマゾールと併用する無機ヨードの通常用量と低用量の短期有用性後ろ向き比較検討

○粟屋 智一

いつかいち駅前内科

一般演題 9

[甲状腺 2]

座長：中西 修平(川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学)

28 バセドウ病と亜急性甲状腺炎が合併した一例

○初鹿 祐美、松田 亜華、姫野 菜津美
独立行政法人 広島市立病院機構 広島市安佐市民病院

29 外科的切除後にチアマゾールの投薬を要した Marine-Lenhart 症候群の1例

○石原 文江、堀江 正和、杉廣 貴史
市立三次中央病院 糖尿病・代謝内分泌内科

30 長期のひきこもり生活を背景に重篤な転帰をたどった 未治療バセドウ病クリーゼの1例

○伊東 麻由菜、多田 裕子、佐々木 基史
松江市立病院 糖尿病・内分泌内科

一般演題 10

[甲状腺 3]

座長：粟屋 智一(いつかいち駅前内科)

31 放射性ヨウ素内用療法を施行した小児バセドウ病の1例

○石黒 太郎¹⁾、澤井 瑠一²⁾、井上 祥花²⁾、井上 愛子²⁾、浜松 圭太²⁾、岡崎 恭子²⁾、
西澤 衡²⁾、服部 真也³⁾、細川 悠紀³⁾、村部 浩之²⁾、横田 敏彦²⁾
1) 倉敷中央病院 医師教育研修部、2) 倉敷中央病院 内分泌代謝・リウマチ内科、3) 倉敷中央病院 小児科

32 学校検診で成長障害を指摘され診断に至った萎縮性甲状腺炎3例の臨床像

○貞岡 知花、宇都宮 朱里、谷 博雄、郷田 聡、板村 真司、小野 浩明、大田 敏之、
神野 和彦
県立広島病院 小児科

33 レボチロキシン吸収障害を繰り返した甲状腺機能低下症を伴う麻痺性イレウスの1例

○野原 佑珠¹⁾、稲見 光浩²⁾、濱岡 彩²⁾、稲垣 早織²⁾、初鹿 佳輝³⁾、河野 友彦³⁾、
岡信 秀治³⁾、亀井 望²⁾
1) 広島赤十字・原爆病院 臨床研修部、2) 広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科、
3) 広島赤十字・原爆病院 第一消化器内科

34 頸部リンパ節転移との鑑別が困難であった側頸部腺腫様甲状腺腫の1例

○野津 雅和¹⁾、中野 里菜¹⁾、小林 茉莉子¹⁾、大谷 はづき¹⁾、竹谷 海¹⁾、守田 美和¹⁾、
山本 昌弘¹⁾、上垣 真由子²⁾、長瀬 真実子²⁾、金崎 啓造¹⁾
1) 島根大学 医学部 内科学講座 内科学第一、2) 島根大学 医学部 病理学講座 器官病理学

一般演題 11

[骨カルシウム 1]

座長：田中 弘之(岡山済生会総合病院 小児科)

35 パミドロン酸治療を行った骨形成不全症の3例

○壺井 史奈、大野 令央義、津田 玲子、樋口 公章、三木 瑞香、西 美和、藤田 直人
広島赤十字・原爆病院 小児科

36 ビタミンD欠乏を伴ったXLHの2例

○香川 礼子¹⁾、内海 孝法²⁾、坂田 園子¹⁾、安達 伸生³⁾、川端 秀彦⁴⁾、岡田 賢¹⁾
1) 広島大学病院 小児科、2) 庄原赤十字病院 小児科、3) 広島大学病院 整形外科、
4) 南大阪小児リハビリテーション病院 整形外科

37 成人発症低フォスファターゼ症の1例

○中野 考平¹⁾、中林 容子¹⁾、畠中 諒子¹⁾、太田 康晴¹⁾、秋山 優¹⁾、竹田 孔明¹⁾、
鈴木 秀典²⁾、谷澤 幸生¹⁾
1) 山口大学大学院医学系研究科 病態制御内科学講座、2) 山口大学大学院医学系研究科 整形外科

38 低リン血症発症13年後に腫瘍性骨軟化症と診断された1例

○神川 壮太¹⁾、稲見 光浩²⁾、濱岡 彩²⁾、稲垣 早織²⁾、福德 款章³⁾、田中 孝幸³⁾、
土井 俊郎³⁾、有馬 準一³⁾、新宅 香恵子⁴⁾、柿沢 秀明⁴⁾、坂谷 暁夫⁵⁾、藤原 恵⁵⁾、
亀井 望²⁾
1) 広島赤十字・原爆病院 臨床研修部、2) 広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科、
3) 広島赤十字・原爆病院 整形外科、4) 広島赤十字・原爆病院 放射線診断科、
5) 広島赤十字・原爆病院 病理診断科

一般演題 12

[骨カルシウム 2]

座長：山本 昌弘(島根大学医学部 内科学第一)

39 食道背側に存在した異所性副甲状腺腫による原発性副甲状腺機能亢進症の1例

○中尾 衣梨菜、岩本 秀幸、辰巳 文則、片倉 幸乃、木村 友彦、伏見 佳朗、下田 将司、
中西 修平、宗 友厚、金藤 秀明
川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学

40 Hungry Bone Syndrome 発症危険因子の検討

○稲見 光浩¹⁾、濱岡 彩¹⁾、稲垣 早織¹⁾、和田 直覚²⁾、津田 敬²⁾、野田 礼彰²⁾、
平川 治男²⁾、澤野 文夫³⁾、亀井 望¹⁾
1) 広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科、2) 広島赤十字・原爆病院 耳鼻咽喉科、
3) 澤野甲状腺・糖尿病専門予約クリニック

41 急性腭炎を契機に発見に至った原発性副甲状腺機能亢進症の1例

○渡辺 青¹⁾、朝山 伊津子²⁾、石原 慎一郎²⁾、和田 里美²⁾、清原 信昭³⁾、金崎 啓造²⁾
1) 島根大学 医学部 卒後臨床研修センター、2) 島根大学 医学部 内科学講座内科学第一、
3) 大田市立病院 内科・総合診療科

42 低カルシウム尿症を呈した、原発性副甲状腺機能亢進症(pHPT)の一例

○宮地 康平、石原 文江、堀江 正和、杉廣 貴史

市立三次中央病院

一般演題 13

[糖・脂質1]

座長：米田 真康(広島大学大学院 糖尿病・生活習慣病予防医学)

43 慢性肝疾患に合併した高TG血症に対するペマフィブラートの体重増加の有無別の有用性についての検討

○高木 慎太郎¹⁾、大屋 一輝²⁾、盛生 慶¹⁾、森 奈美²⁾、岡信 秀治²⁾、越智 秀典²⁾³⁾、辻 恵二²⁾、久留島 仁³⁾、古川 善也²⁾

1)広島赤十字・原爆病院 総合内科、2)広島赤十字・原爆病院 消化器内科、3)広島赤十字・原爆病院 健診部

44 2型糖尿病の持効型溶解インスリン治療における、インスリン離脱に関する予測因子は何か：外来導入症例の多施設共同後ろ向き観察研究

○和又 諒¹⁾、中西 修平¹⁾、阿武 孝敏²⁾、川崎 史子²⁾、木村 友彦¹⁾、辰巳 文則¹⁾、下田 将司¹⁾、宗 友厚¹⁾、加来 浩平²⁾、金藤 秀明¹⁾

1)川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学、2)川崎医科大学 総合医療センター

45 亜鉛製剤過剰による銅代謝異常により貧血をきたした1例

○初鹿 佳輝¹⁾、高木 慎太郎²⁾、森 奈美¹⁾、岡信 秀治¹⁾、越智 秀典³⁾、辻 恵二¹⁾、久留島 仁³⁾、古川 善也¹⁾

1)広島赤十字・原爆病院 消化器内科、2)広島赤十字・原爆病院 総合内科、3)広島赤十字・原爆病院 健診部

一般演題 14

[糖・脂質2]

座長：江口 潤(岡山大学病院 腎・免疫・内分泌代謝内科学)

46 分娩時に厳格な血糖管理を行った糖尿病合併妊娠の1例

○姫野 菜津美¹⁾、松田 亜華¹⁾、初鹿 祐美¹⁾、佐藤 優季²⁾

1)広島市立安佐市民病院 内分泌・糖尿病内科、2)東広島医療センター 産婦人科

47 膵切除術式による食事応答性グルカゴン分泌反応の差異

○松田 亜華¹⁾、姫野 菜津美¹⁾、初鹿 祐美¹⁾、中島 亨²⁾、小橋 俊彦³⁾、河盛 段⁴⁾、亀井 望⁵⁾

1)広島市立安佐市民病院 内分泌・糖尿病内科、2)呉共済病院 外科、3)広島市立安佐市民病院 消化器外科、4)大阪大学大学院 医学系研究科 内分泌・代謝内科学、5)広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科

48 精神疾患として加療され、診断に苦慮したインスリノーマの一例

○許 敬高、洪 早耶佳、大久保 博史、水木 一仁

広島市民病院 内分泌・糖尿病内科

抄 録

特別講演

JES We Can・第22回中国支部学術集会共同企画

教育講演

YIA 候補演題口演

一般演題



2型糖尿病－成因と治療の最新知見

門脇 孝

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長

略 歴

1978年	東京大学医学部医学科 卒業
1980年	東京大学医学部第三内科学教室に入局、研究に従事
1986年	米国国立衛生研究所 (NIH) 糖尿病部門 留学
1996年	東京大学医学部 (内科学第三) 講師
2001年	東京大学大学院医学系研究科代謝・栄養病態学 (糖尿病・代謝内科) 助教授
2003年	東京大学大学院医学系研究科代謝・栄養病態学 (糖尿病・代謝内科) 教授
2009年	東京大学 総長特任補佐
2011年	東京大学医学部附属病院長
2018年	帝京大学医学部附属溝口病院病態栄養学講座 常勤客員教授 東京大学大学院医学系研究科糖尿病・生活習慣病予防講座 特任教授 東京大学 名誉教授
2020年	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長

学会活動

日本医学会理事・副会長、日本内科学会理事・理事長 (2016～2018年)、日本糖尿病学会理事・理事長 (2008～2020年)、日本肥満学会理事・理事長 (2017年～)、日本内分泌学会理事 (2007～2019年)、日本病態栄養学会理事、日本学術会議連携会員、IDF-WPR (国際糖尿病連合西太平洋地区) Chair-elect

受 賞

日本糖尿病学会学会賞 (シオノギ・リリー賞)、日本内分泌学会研究奨励賞、ベルツ賞、持田記念学術賞、日本糖尿病学会学会賞 (ハーグドーン賞)、高峰記念三共賞、日本医師会医学賞、上原賞、日本糖尿病・肥満動物学会学会賞 (米田賞)、紫綬褒章、日本体育医学会学会賞、武田医学賞、日本内分泌学会学会賞、日本糖尿病合併症学会 Expert Investigator Award、日本肥満学会学会賞、日本学士院賞、Manpei Suzuki International Prize for Diabetes Research、藤原賞、IDF (The International Diabetes Federation) Award for Diabetes Complications and Comorbidities、Claude Bernard Medal of EASD (European Association for the Study of Diabetes)、Roy O. Greep Award of the Endocrine Society for Outstanding Research

1) 2型糖尿病の成因の最新知見

2型糖尿病には遺伝因子と環境因子が関与する。遺伝因子については、日本人大規模 GWAS により、日本人・東アジア人に特徴的な遺伝子が多数同定された。その中には、インスリン分泌制御やβ細胞の機能制御にかかわる多くの遺伝子が含まれる。GWAS データを元に、日本人糖尿病のリスク予測のための PRS (Polygenics Risk Score) を作成した。また、2型糖尿病の合併症にかかわる遺伝子を同定するため、2,000人の糖尿病患者の全ゲノムシークエンスを行った。環境因子については、肥満に伴うインスリン抵抗性の新しいメカニズムとして、肥満に伴う M2 マクロファージの機能不全の重要性を明らかにした。また、肥満に伴うインスリン抵抗性で重要なアディポネクチン受容体 (AdipoR) の役割、AdipoR の構造と機能に関する新しい知見を報告する。

2) 2型糖尿病の治療の最新知見

J-DOIT3で認められた心血管イベント、死亡、腎症、網膜症の抑制における血糖・血圧・脂質管理のそれぞれの寄与を明らかにし、HbA1c 6.5%未満に血糖管理を行うことの重要性を示す。食事・運動・薬物に加え、糖尿病治療の第4の柱として、減量・代謝改善手術が正式に取り入れられることになった。その経緯と意義について述べる。GLP-1受容体作動薬 (週1回の注射製剤、経口薬) が2型糖尿病治療・肥満症治療の上で有する意義と位置付けについて述べる。また、新規治療薬としての AdipoR 作動薬 (AdipoRon) の開発の試み、2型糖尿病遺伝子・合併症遺伝子の情報に基づく精密医療の展望とその光と影についても述べる。また、糖尿病治療を進める上でのステイグマ解消とアドボカシー活動の重要性について強調する。

【参考文献】

- 1) Okada-Iwabu M, et al. Nature (Article) 503: 493-499, 2013
- 2) Tanabe H, et al. Nature (Article) 520: 312-316, 2015
- 3) Kubota N, et al. Nature Communications 7: 12977, 2016
- 4) Kubota T, et al. Cell Metabolism 25: 797-810, 2017
- 5) Ueki K, et al. Lancet Diabetes & Endocrinology 5: 951-964, 2017
- 6) Kubota T, et al. Nature Communications 9: 4863, 2018
- 7) Suzuki K, et al. Nature Genetics 51: 379-386, 2019
- 8) Spracklen CN, et al. Nature 582: 240-245, 2020
- 9) Tanabe H, et al. Communications Biology 3: 446, 2020
- 10) Toda G, et al. Molecular Cell 79: 43-53, 2020
- 11) Iwabu M, et al. Communications Biology 4: 45, 2021

第22回日本内分泌学会中国支部学術集会
プログラム・抄録集

会 長：亀井 望

事務局：広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科
〒730-8619 広島市中区千田町1-9-6
TEL：082-241-3111 FAX：082-246-0676
E-mail：jesc2021@hiroshima-med.jrc.or.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://www.secand.jp/>



第22回日本内分泌学会中国支部学術集会事務局

〒730-8619 広島市中区千田町1丁目9番6号
広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科
TEL: 082-241-3111 FAX: 082-246-0676
E-mail: jesc2021@hiroshima-med.jrc.or.jp